

耶馬溪「日本新三景」選定 100 周年

・ ・ 耶馬溪はいかにして国指定となったのか ・ ・

・ ・ 耶馬溪を愛した画家たちの目にはどう映ったのか ・ ・

「耶馬溪」をテーマに、歴史と美術のコラボ展示を開催します！

1. 耶馬溪風物館特別展「名勝耶馬溪誕生ものがたり」について

1. 主 旨

江戸時代に天下一の景勝地と称された耶馬溪は、明治以降、一大観光地として客足が絶えませんでした。道路開鑿や鉄道敷設といった開発により、山を切り開いた結果、新たな景観が生まれ、自動車や鉄道を使った観光ブームが訪れました。大正 5 年「日本新三景」、大正 12 年「国指定名勝」に指定され、自然景観と人文景観の調和美として文化的にも評価されました。

特別展では、“名勝” 耶馬溪が誕生した大正～昭和初期に、この地に住み、またはこの地を訪れ、耶馬溪の景観を体感した人物たちに焦点をあて、名勝耶馬溪誕生の歴史とともに紹介します。

2. 場 所

耶馬溪風物館（中津市本耶馬溪町曾木 2193-1）

3. 期 間 ・ 観覧料等

平成 28 年 11 月 11 日（金）～12 月 11 日（日）

〔開館時間〕 9：00～17：00（入館は 16：30 まで）

〔休館日〕 木曜日

〔観覧料〕 大人 100 円／幼児・小・中学生無料

4. 主な展示品

小杉放庵・國府犀東「平田古城八景」（個人蔵）

小杉放庵画・田山花袋賛「耶馬溪図」（中津市木村記念美術館蔵）

小川清処「深耶馬溪図」（村上医家史料館蔵）

國府犀東書詩（耶馬溪風物館蔵）

5. 問合先

中津市教育委員会社会教育課文化財室（0979-22-1111・内線 602）

2. 中津市木村記念美術館特別展「画家たちの見た耶馬溪」について

1. 主 旨

耶馬溪は、江戸後期、儒学者として有名な頼山陽に「耶馬溪図巻」等で紹介された頃から、多くの文化人に愛され、現在まで様々な美術作品の題材として取り上げられてきました。

特別展では、大分県出身の作家を中心に、「耶馬溪」を題材にした作品を一堂に集め、時代・ジャンル問わずに展示します。画家たちがそれぞれに見た耶馬溪の“美”を、多様な作品群を通して感じていただける内容となっています。

※ 本展は耶馬溪風物館特別展「名勝耶馬溪誕生ものがたり」（11月11日～12月11日）とのコラボ企画です。

2. 場 所

中津市木村記念美術館（中津市 1366-3・片端町）

3. 期 間 ・ 観覧料等

平成 28 年 11 月 10 日（木）～12 月 11 日（日）

〔開館時間〕 9：00～17：00（入館は 16：30 まで）

〔休館日〕 火曜日

〔観覧料〕 一般 200 円／大学・高校生 100 円／中学生以下無料

4. 主な展示品

歌川広重「六十余州名所図会 羅漢寺下道」（大分県立美術館蔵）

片多徳郎「耶馬溪晩秋」（大分県立美術館蔵）

岩澤重夫「峻」（大分県立美術館蔵）

熊谷九寿「耶馬溪」（中津市木村記念美術館蔵）、他

5. 関連イベント

○ギャラリー・トーク（展示解説） 事前申込み不要

11月13日（日）、12月3日（土） 13：30～（各日約30分程度）

○ワークショップ「落ち葉アートで楽しむ秋—貼り絵を作ろう—」 事前申込み要

11月23日（祝） 13：30～15：30 会場：小幡記念図書館視聴覚室

6. 問合せ先

中津市教育委員会社会教育課文化芸術係（0979-22-0679）